

J-GBFの取組みに関する提案

国際自然保護連合日本委員会
事務局長 道家哲平

提案：J-GBFメンバーやネイチャーポジティブ推進に賛同する団体・個人等が、今後のコミュニケーション・教育・普及啓発（CEPA）で活用できるような、昆明モントリオール生物多様性世界枠組み（GBF）の普及版を作成する

- 狙い：普及版（GBFの名称、4つのゴール、23の目標）を作成。J-GBF構成員を含め、その活用を促し、GBFおよび生物多様性国家戦略のための、行動を促す。
- 方針：CBD事務局作成のGBF解説やコミュニケーション戦略をもとに、普及啓発を第1に考えた普及版を作成する（既存の記述の取捨選択であって、追加はしない）
- 体制：IUCN-Jを事務局に、博報堂のご支援をいただきながら制作
- スケジュール：7月に、J-GBF内で回覧し、コメント依頼。コメントを参考に修正し、総会（9月予定）にて発表。普及にかかる活動は、COP16等国際会議でのアピールも視野。
- 予算：普及版は博報堂プロボノで作成。
- 幹事団体への期待：
 - 国民への分かりやすさの視点からの普及版へのコメント。
 - 作成後に、様々なコミュニケーション（ウェブ、冊子、プレゼン等）の機会、活用。

提案の背景

- 国際社会においては、GBFの採択以降、2023年5月には解説が作成され、また、「あらゆる社会のアプローチ」による実施のためThe Biodiversity Planという愛称含むコミュニケーションキャンペーンが開始（2023年12月）。分かりやすく伝え、行動を促す取組みが進展
- SBI4@ナイロビにおいても、コミュニケーションの議題が設けられ、多様なセクターへの浸透が重要との指摘
- 日本国内においては、ネイチャーポジティブ経済移行戦略、地域生物多様性増進活動促進法などにより政策は進展しているが、市民団体の視点から言えば、国民の理解度をもっと高める必要
- GBFの意義や23の行動の必要性の普及、ネイチャーポジティブ宣言の普及と宣言団体の価値向上を進めるため、GBF普及版の作成と活用が必要



THE BIODIVERSITY PLAN
For Life on Earth

種を絶滅から守ろう。

大

種の絶滅を阻止と遺伝的多様性を保護し、人間と野生生物の共存をはかる。

中

種（とりわけ絶滅危惧種）の絶滅を食い止めながら、種の回復と保全を行う。また自然が持つ適応能力を維持するために、生息域内および動物園や研究施設などの生息域外の保全と管理を含めて在来種、野生種、家畜化された種の遺伝的多様性を維持・回復する。さらに、野生種の人間生活圏内の立ち入りや、人間の野生種生息エリアへの立ち入りなど、人間と野生生物の衝突を最小限に抑え共存を図る。

小

GBFの英文、訳文、12/22発表の英文コピー等の情報から大、中、小のレベルごとに情報を削る。

- 大は、行動を促す言い回しに
- 中は、行動をもう一段詳しく
- 小は、英文特有の長文を、順序、複数文にするなどして、整理。

ターゲット 4 種・遺伝子の保全,野生生物との共生

本文 ”人間によって引き起こされる既知の絶滅危惧種の絶滅を阻止し、また絶滅リスクを大幅に減らすための種、特に絶滅危惧種を回復及び保全し、並びに適応能力の維持のために在来種、野生種及び家畜・栽培種の個体群内及び個体群間の遺伝的多様性を維持及び回復するために、生息域内及び生息域外保全や持続可能な管理の実践等を通じて緊急の管理行動を確保するとともに、共存に向けて人間と野生生物との軋轢を最小化するため人間と野生生物の相互作用を効果的に管理する。”

目標

種・遺伝的多様性

Halt Species Extinction, Protect Genetic Diversity, and Manage Human-Wildlife Conflicts

4 / 23



種の絶滅を食い止め、遺伝的多様性を保護し、人間と野生生物の衝突を管理する

人間によって引き起こされる既知の絶滅危惧種の絶滅を阻止し、また絶滅リスクを大幅に減らすための種、特に絶滅危惧種を回復及び保全し、並びに適応能力の維持のために在来種、野生種及び家畜・栽培種の個体群内及び個体群間の遺伝的多様性を維持及び回復するために、生息域内及び生息域外保全や持続可能な管理の実践等を通じて緊急の管理行動を確保するとともに、共存に向けて人間と野生生物との軋轢を最小化するため人間と野生生物の相互作用を効果的に管理する。

Ensure urgent management actions to halt human induced extinction of known threatened species and for the recovery and conservation of species, in particular threatened species, to significantly reduce extinction risk, as well as to maintain and restore the genetic diversity within and between populations of native, wild and domesticated species to maintain their adaptive potential, including through in situ and ex situ conservation and sustainable management practices, and effectively manage human-wildlife interactions to minimize human-wildlife conflict for coexistence.